

閑谷かわら版

2015.3.1 〒705-0036 備前市閑谷 784

公益財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会

No.56

史跡管理事務所 Tel.0869-67-1436

第2回 閑谷の早春を愛でる会

3月14日(土)～15日(日)に、閑谷の早春を愛でる会が開催されます。



今年は、普段は閉じられている文庫（国の重文）の扉を開け、漆喰造の三重構造の様子を公開します。

春季特別展は、

教育県岡山を学校建築の面から支えた建築技師

江川三郎八えがわさぶろうはちの業績を展示します。閑谷学校資料館も、明治38年に私立中学閑谷巒の本館として、江川三郎八によって作られたものです。



江川三郎八

その他、「煎茶のおいしい淹れ方講座」「軽音楽演奏」「箏の演奏」「孔子像春の特別公開」「閑谷の四季パネル展」等もあります。

なお、「煎茶のおいしい淹れ方講座」は参加費800円で予約が必要です。参加費には、史跡入場料・甘酒無料券・楳の木キホダグーのプレゼントが含まれ、いろいろとお楽しみいただけます。

今年度最後の日曜論語(第10回)開催

第10回の日曜論語を、3月22日に開催します。

昨年6月から「孔門の弟子たち」として開催していたシリーズの最終回となります。講師は、元備前緑陽高校長の戸川英雄とがわひでお先生です。

春の穏やかな日差しの中で、講堂に正座して論語の朗唱をされませんか？ 受講料は、大人600円・子供200円です。

なお、平成27年度も、戸川先生による新シリーズ(全10回)を予定していますので、ご期待ください。

梅も椿も見頃です



鶴鳴門かくめいもん前の紅梅白梅、椿山の400本のヤブツバキが見頃を迎え、小鳥たちも、あちらこちらで春のさえずりを始めています。トラツグミやオオアカハラも来ているようです。

椿山の方では、ウグイスも鳴き始めました。

どうぞ閑谷で、早春の一日をお過ごしください。

神社門の石塀修復が完成

神社門じんじやもん(横の石塀含む)は、明治10年に石塀を切り開いて新しく作られたものです。今回、崩れていた部分



の地盤を固めた上に石を元のように組み上げました。

併せて、文化財を火事から守る防火設備改修工事も3月末に完成予定です。

日本遺産登録申請について

備前市と備前商工会議所は、2月21日付で【教育遺産世界遺産登録推薦協議会(会長：高橋靖・水戸市長)：H12.11設立】に加盟し、4市(水戸市・日田市・足利市・備前市)は連名で、文化庁に“「日本遺産」の認定”を申請しました。

今回の申請は“教育遺産としての一体登録”であり、対象施設は、水戸市の<(水戸藩校)弘道館>・日田市の<(私塾)咸宜園>・足利市の<(国内最古の学校)足利学校>・備前市の<(国内最古の庶民教育施設)閑谷学校>です。

